

奥出雲町社協だより

ふくしの窓

2024年

6月

第114号



詳しい内容につきましては最終ページをご覧ください。

〈主な内容〉

- P2~7 令和5年度事業報告・決算
- P8 しまねの社協がそこにある
- P9 老人クラブ連合会
- P10 傾聴ボランティアについて
- P11 寄付のお礼
- P12 お知らせ

“奥出雲町社協”の日常の様子はHP、Instagram、Facebookにて随時更新しています。

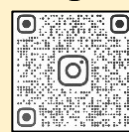
奥出雲町社協

検索

HP



Instagram



Facebook



ふくしの窓は赤い羽根共同募金の助成により発行しています。

令和5年度 社会福祉法人奥出雲町社会福祉協議会 事業報告書

本町においては、人口減少と高齢化の一途を辿る一方、生活不安や経済情勢などを要因とする生活困窮やひきこもりなど地域を取り巻く生活課題は深刻化また複雑化しています。加えて近年頻発する自然災害や生活必需品を含む多くの物品の物価高騰など、住民の暮らしに大きな影響を与えており、今をどう生きるか、将来にどのような町を繋いでいくか、という点において地域福祉に対するニーズがますます増大しています。そのような状況においては、これまでの公的サービスだけでなく地域で互いに支え合い助け合う「地域共生社会」の実現を図っていくことが必要不可欠になりました。そこで本会では、制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手・受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画し、人と人、人と資源が、世代や分野を超えて丸ごとつながる仕掛けづくりに挑戦し、地域の企業や学校なども巻き込んだ「つながりの構築」に取り組みました。

また、本会は住民主体を基本に地域福祉を推進してきましたが、「社協」という団体の認知度の低さ故に本来様々なサービスと繋がるはずのニーズや地域資源が見過ごされている現状があることが分かり、それは全国の社協において共通の課題であるため、令和4年度より県内全ての社協で取り組む「しまねオール社協ブランディング事業」における広報戦略を強化し、一人でも多くの住民と繋がるための挑戦を継続して行いました。

以上、今年度は各種事業を推進するための基盤として、本会の社会的価値や認知度を高め、地域住民をはじめ多分野からの信頼を深めると共に様々なつながりを構築することで、「支え合い、助け合い、安心して暮らせるまちづくり」を目指す取り組みを行いました。

収入の部 合計 74,832,191 円	会費 2,721,200 円	寄付金 4,389,489 円	経常経費補助金 15,656,158 円	支出の部 合計 66,890,405 円 ※事業ごとにご紹介します。 当期末支払資金残高 7,941,786 円
	受託金 32,322,150 円	受取利息配当金 56,071 円	貸付事業 68,000 円	
	事業収入 5,813,821 円	その他の収入 5,496,738 円	前期繰越金 8,308,564 円	

1 つなげる

地域で生活を送るうえで生じる課題は介護、子育て、障がい、病気等から住まい、就労、家計、教育等様々な分野に及びます。私たちは、これまでの「福祉」という枠を取り払い、多様な分野の人や組織にアプローチし、関係性を構築していくとともに、そうした人や組織同士をつなげていきます。



2 受け止める

私たちは、どのような課題であっても、まず住民の想いを丸ごと受け止め、寄り添います。その後、ネットワークを駆使したり、住民組織やボランティアグループ等と協議を重ねるなど、社協らしい解決策を模索し、共に解決に向けて行動します。



3 挑戦する

私たちは、地域で生活を送るうえで生じる課題に正面から向き合い、制度や前例に捉われず、地域住民とともに新たな活動やサービスを生み出し、その解決に向けて常に挑戦します。

1 善意銀行運営事業 (3,120,000 円)

町民の皆様からいただいた浄財を適切に管理し、地域福祉の増進に努めました。

- ・ 寄付金の受付(一般寄付 228 件/総額 4,269,489 円)
- ・ 寄付物品の募集と有効活用
- ・ ベッド等福祉用具、作業器具等(受付 12 件)
- ・ 土嚢袋(受付 2 件)

大田市災害ボランティアセンターへ譲渡し、
土砂崩れ復旧作業に活用

- ・ 米やレトルト食品、生活用品等(受付 11 件)



土嚢袋をご寄付くださった仁多郡建設業協会の佐藤会長・景山事務局長

2 法人運営事業 (8,777,106 円)

地域福祉を推進する民間の組織として活動するための自立した組織基盤の構築と財源の確保、また公正な経営を行うことに努めました。

3 防災・災害対策推進事業 (295,463 円)

奥出雲町地域防災計画並びに本会災害対応マニュアルをもとに、関係機関等と協力しながらそれぞれの役割を共有し災害発生時に迅速に対応できる体制づくりに努めました。

- ・ 災害ボランティアセンター立上訓練の実施 (仁多・横田ライオンズクラブ共催)
- ・ ふくし防災研修会の開催
- ・ 中国山地県境 4 市町社会福祉協議会情報交換会の開催

4 ボランティアセンター事業 (772,793 円)

ボランティアに関する理解と関心を深めるとともにボランティアの育成を図り、助け合いの輪を広げる活動を行いました。

5 おくいずも流地域力活性化事業 (2,829,434 円)

住民ひりとひとりが安心して生活できる地域をつくるため、向こう三軒両隣精神を土台とする地域社会の仕組みを再建し、住民が主体的に自らの力を集結した地域力の醸成に努めました。

- ・ 健康ペタンク大会の開催
- ・ 軽スポーツ用具の貸出による自治会単位等での集いの場の支援

予約殺到!!
軽スポーツ!



青空の下、
若いも若きもペタンク三昧!

・「共に生きる力を育てるワークショップ」の開催



世代を超えて力を合わせたよ!



・「社協のふくし出前講座」の実施



初めて乗る車いすに不安な様子も

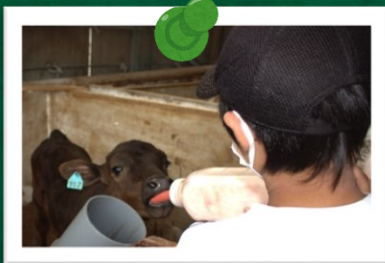


仁多郡森林組合の皆様、
受講ありがとうございました!

・「地域共生社会創造助成事業」の推進 【助成団体】着物リメイク教室すみれ会・地域サロン西湯野

・「しまね流ふくし教育推進モデル事業」の実施

横田中学校の特別支援学級の生徒さんを対象に
職場体験や地域交流を行いました!



生徒の声

地域の方と交流をして、「ありがとう」や「上手だね」と言ってもらえて嬉しかった!

職場体験で色々な経験をしたので、この経験を活かして将来頑張っていく予定です!

6 企業と社協の連携事業『つなぐ』(849,306円)

ひきこもりの状態にある方や適切な支援機関との関りが無い方、またそのご家族に対する相談支援を行うとともに、町内の企業と連携した就労体験の場の提供を行うことにより、対象者(つなぐメンバー6名)と地域との繋がりを適切に確保し、地域全体で支える基盤づくりに努めました。

・協力企業等での就労体験の実施 (活動延べ日数 161日、延べ活動時間 438時間)

企業・団体名	活動内容	延べ参加人数
(株)サンエイト	トウガラシのヘタ取りほか	122
(株)丸共	リサイクル品の分別ほか	23
(農組)中国牧場	子牛の授乳ほか	14
仁多興産(有)	看板製作	2
奥出雲やまなみファーム	馬・小動物の世話ほか	15
社協その他	グリーンヒルさとう草抜ほか	51
延べ参加人数合計		226



7 困りごと支援事業 (543,877円)

様々な困りごとを抱える方のお手伝いをする事により、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援しました。

- ・福祉用具の無料貸出の実施
- ・出張なんでも相談所の開設(相談受付 13件)
- ・職員による窓口相談の受付(相談受付 111件)
- ・生活困窮世帯等に対する食品等の無償提供(延べ 23世帯)



8 介護予防普及啓発事業 (4,978,193円)

高齢者に対しきめ細やかなサービスを提供することにより、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図りました。



9 食の自立支援サービス事業（6,319,972 円）

一人暮らし等の高齢者が健康で自立した生活を送ることができるよう、「食」の自立の観点から計画的に支援し、在宅での自立支援を図りました。

10 障がい者等配食サービス事業（1,051,094 円）

障がい者等に対し保健指導または予防給付の観点から、栄養バランスのとれた食事を提供することにより健康で自立した在宅生活を送ることができるよう支援しました。

11 高齢者等みまもりネットワーク事業（4,880,292 円）

在宅で生活する高齢者に対し、テレビ電話による支援ネットワークを通じた見守り体制を強化し、安心安全な生活を支援しました。

12 介護予防拠点施設管理事業（1,298,190 円）

高齢者が介護を要する状態にならないよう予防し、生きがいをもって生活を送れるよう支援する施設の管理運営を実施しました。

13 生活困窮者支援等のための地域づくり事業（11,881,355 円）

地域住民相互の支え合いによる共助の取り組みの活性化を図りつつ、生活困窮者等と地域とのつながりを適切に確保し、地域全体で支えるしくみを構築するよう努めました。

14 家計改善支援事業（103,874 円）

家計に問題を抱える方に対して、家計の視点からの情報提供や家計の見える化等の専門的な助言や指導を行うことにより、生活困窮者の自立の促進を図りました。

15 ひきこもり支援ステーション事業（9,912,268 円）

ひきこもり支援コーディネーターを設置し、ひきこもり状態にある本人や家族等の状況を踏まえた支援体制の構築に努めました。

- ・相談受付、訪問支援（124 件）
- ・居場所づくり（延べ利用者 95 名）
- ・ひきこもりサポーター情報交換会の開催
- ・協力企業ネットワーク会議の開催
- ・当事者による交流会の開催
- ・実態把握調査の実施(実態把握対象者数 74 名)



16 伴走型支援事業（66,635 円）

ひきこもりや生活困窮等により社会的孤立感や生きづらさを感じている方に対し、課題解決型支援と並行してつながり続ける伴走型の支援を実施しました。

17 福祉サービス利用援助事業（5,702,893 円）

認知症や障がいにより判断能力が不十分な方や、日常生活に不安のある方の権利を擁護することを目的に、福祉サービス利用援助等を行いました。

18 法人後見事業（219,499 円）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など意思決定が困難な方を法律的に保護し支援しました。

19 資金貸付事業（60,000 円）

生活に困窮する世帯の自立更生を目的として、民生児童委員や福祉事務所と連携し、当該世帯に対する援助指導を行うとともに、応急的な生計の維持に必要な一時的資金(民生融金)の貸付を行いました。

20 生活福祉資金貸付事業 (368,312 円)

低所得世帯や障がい者世帯、高齢者世帯等の経済的自立や生活意欲の助長促進などを図るため、低利または無利子で資金を貸し付けました。

21 屋内ゲートボール場管理運営事業 (995,440 円)

生涯スポーツの振興をととして福祉の増進を図ることを目的に設置されたすぱーく仁多を適切に管理運営しました。

22 グラウンド・ゴルフ場管理運営事業 (1,864,409 円)

生涯スポーツの振興をととして福祉の増進を図ることを目的に、グリーンヒルさとうを適切に管理運営しました。

- ・受付と利用料の管理 (延べ利用者数 3,599 名)
- ・年会員の募集 (年会員 41 名@5,000 円/年)
- ・社協会長杯つなぐグラウンド・ゴルフ大会の開催 (全 8 回 延べ参加者数 716 名)



連携事業

奥出雲町社協の独自事業を紹介します

企業と社協の連携事業『つなぐ』

ひきこもり等の人に対し、人や地域とのつながりを適切に確保する支援を行うとともに、**地元企業**や地域全体で支える基盤を作ります



企業での就労体験の様子

学校と社協の連携事業『むすぶ』



グラウンド・ゴルフ大会の運営スタッフの様子



特別支援学級の生徒などを対象に実践的な**福祉教育の推進**を行うとともに、対象者やその家族のニーズまたは課題の早期発見につなげます

ご存じですか？



しまねの社協がそこにある

島根県内20の社協がわかる「しまねの社協がそこにある」(通称：しまそこ)というウェブサイトがあります。島根県内の社協がどのようなことをしているのかご覧ください。今回は、奥出雲町社協の記事をご紹介します。



いちばん奥。
2024年05月27日 奥出雲町

爆笑!!お笑い手品!!
2024年05月17日 奥出雲町

顔の見える社協!!
2024年05月01日 奥出雲町



掲 載 一 覧 !

あなたの人生が180度変わる!
2024年03月29日 奥出雲町

美味しい豚汁完成!!
美味しかったわ~!ありがとう!!
2024年01月19日 奥出雲町

集中! get you♡ 若返り中!!
2023年12月26日 奥出雲町

しまそこ担当者の
想い



社協が何をしているのかわからないという方がほとんどです。このホームページで社協が何をしているのか多くの方に知っていただきたいです!奥出雲町社協も様々な記事を掲載しています。ぜひご覧ください!!

しまそこで検索してみてください!!

しまそこ

検索

奥出雲町老人クラブ連合会の活動紹介

令和6年度
代議員総会

やる気！元気！に2年間の体制が決定!!

5月24日（金）

横田コミュニティセンターにおいて、令和6年度代議員総会を行いました。今回は役員改選が行われ、下表通り役員が決定いたしました。

また、総会終了後には研修会を行い、馬木出身の鍼灸師 藤崎大輝氏に健康学習『やる気！元気！ふじさき!!』と題してご講演いただきました。

役職	氏名	地区
連合会長	飛田 忠	馬木
連合副会長	内田正男	布勢
監事	佐伯君雄	横田
監事	川角久志	阿井

（任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日）

藤崎氏による研修会の様子



参加者の要望に合わせた体操やストレッチを指導いただき、介護予防、フレイル予防にもつながりました。

リーダーになって『得』をしよう!

5月14日（火）

若手委員・
女性委員
合同委員会



当日は、二人一組になり簡単な演習形式で楽しく「新時代のリーダー」について学びました。

奥出雲町老人クラブ連合会では、各地区に若手委員・女性委員を設置し、老人クラブ活動の普及や会員募集に努めています。

この度、若手委員・女性委員合同委員会をカルチャープラザに多で開催し、『新時代の老人クラブのリーダー像』と題して、生涯現役コーディネーター落合孝行氏より委員として活動する上での心構え等を学びました。

また、下記の通り若手委員・女性委員の代表者を決定しました。

若手委員代表：佐野健一郎（亀高）

女性委員代表：長谷川公子（阿井）



老人クラブ連合会会員募集中です！
お気軽に事務局までお問合せください。

傾聴ボランティア 利用してみませんか？

誰かと
話がしたい

誰かに話を
聞いてもらい
たい

不安を
軽減したい

少しでも
興味がある方

誰かと話したい、誰かに話を聞いてもらいたいという方の気持ちを受け止め相手の心を支え、少しでも不安を軽減できるよう手助けをすること、またコミュニケーションをとりながら元気に暮らせることを目的とします。

利用内容

利用時間：1時間程度

利用日：月1~2回（利用者様と相談をして決めます）

利用料：1回1,000円（町民税課税世帯）

※ただし非課税世帯の方は無料



利用申込

～利用までの流れ～

- ①社協職員が一度訪問をします
- ②利用者様に合ったサポーターさんを紹介
- ③傾聴ボランティアスタート！！

お気軽に
担当の加村一樹
までご連絡ください！
（電話：54-0800）



寄付のお礼

奥出雲町社協では、次の方々から
ご寄付いただきました。

紙上にてお礼申し上げます。

誠にありがとうございました。

(令和六年四月一日)

令和六年五月三十日受付分掲載)

香典返し・

玉串料返し等(受付順)

須川 嘉之 様 (竹崎)
 故 敬子 様
 水岩田 富栄 様 (中村)
 故 武 様
 牛尾 恭子 様 (三成)
 故 紘二 様
 青戸 政常 様 (横田)
 故 博子 様
 植田 一正 様 (三所)
 故 秀明 様
 佐藤 聡 様 (中村)
 故 幸子 様

藤原 圭吉 様 (下横田)
 故 久代 様
 渡部 純 様 (大谷)
 故 克己 様
 久井 一 様 (郡)
 故 祐二 様
 内田 利治 様 (中村)
 故 繁利 様
 遠藤 秀夫 様 (上阿井)
 故 慧江 様
 田部 浩 様 (八川)
 故 省悦 様
 福田 美智子 様 (下阿井)
 石原 照雄 様 (小馬木)
 故 武信 様
 柏木 満枝 様 (上三所)
 故 恩田トキ子 様
 矢島 克美 様 (稲原)
 故 京子 様
 内田 照信 様 (大馬木)
 故 和枝 様
 落合 義昭 様 (高尾)
 故 富美子 様

若槻 康春 様 (亀嵩)
 故 修 様
 難波 隆徳 様 (大谷)
 故 雅朗 様
 川島 嘉和 様 (稲原)
 故 邦子 様
 北村 美紀男 様 (大馬木)
 故 キヨコ 様
 石原 照勝 様 (大谷)
 故 富士枝 様
 和久利 輝明 様 (三成)
 故 幸一 様
 吉川 真知子 様 (横田)
 糸原 輝幸 様 (大馬木)
 故 利定 様
 高橋 護 様 (竹崎)
 故 窈子 様
 石原 敬子 様 (馬馳)
 故 英樹 様
 安原 久子 様 (下阿井)
 故 和徳 様
 長谷川 修 様 (三成)
 故 宮子 様

石原 啓次 様 (中村)
 故 勝 様

見舞い返し(受付順)

川西 建次 様 (三成)

善意の寄付(受付順)

ア
 コ 様



福祉委員の皆様よろしくお祈いします！

令和6年4月20日(土)、令和6年度福祉委員委嘱状交付式並びに研修会をカルチャープラザ仁多で開催し、各自治会から推薦された福祉委員167名に委嘱状を交付しました。

当日は、福祉委員活動の目的や具体的な内容についての説明後、島根県中山間地域研究センター主任研究員東良太さん、三沢地区小さな拠点づくり地域づくり支援員の落合孝行さんを講師に「福祉委員の役割『福祉=防災』」をテーマにご講演いただきました。日頃からの近所付き合いの大切さなどを学びました。



落合氏・東氏による講演の様子

あいサポーター研修を行いました

令和6年5月16日(木)に三成小3年生を対象に出前講座を開催しました。目の不自由な方はどういった見え方をしているかや身の回りの物にどういった工夫がされているかなど体験してもらいました。

点字の本に触れてみよう



積極的に発言をしてくれました

顔の見える社協！！職員紹介 part2



加村一樹 (かむらかずき)
【主事】

○出身：出雲市
○趣味：筋トレ
～前職はジムのトレーナーをしていました～



○意気込み

福祉分野の仕事は初めてですが、これまでの経験を活かして頑張ります！これから町民の皆様にお会いする機会があると思うので見かけたら気軽に声をかけて下さい。

社協会費のお願いについて

社会福祉協議会の運営は、町民の皆様からの会費をはじめ、補助金や寄付金等でまかなわれております。

住民同士の支え合い活動をますます活性化していくための大切な財源となる会費にご協力お願いいたします。

お寄せいただいた会費は、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり事業を推進していくための法人運営費として活用させていただきます。

- 一般会費 800円
- 賛助会員 2,000円



仁多事務所

〒699-1511 島根県仁多郡奥出雲町三成 260 番地 1
Tel (0854)-54-0800 Fax (0854)-54-0801
有線 31-0800
E-mail syakyo@okuizumo.ne.jp

横田事務所

〒699-1821 島根県仁多郡奥出雲町稲原 57 番地 6
Tel (0854)-52-0294 Fax (0854)-52-0137
有線 20-0294